

令和5年度 第2回長野県教科用図書選定審議会 議事録

- 1 日時 : 令和5年5月31日(水) 午後10時～午後4時05分
- 2 会場 : 長野県庁3F 特別会議室
- 3 出席者 ○委員 : 小野委員、北村委員、木村委員、久保田委員、鈴木委員、瀧田委員、熊谷委員、馬島委員、御手洗委員、宮下委員、西澤委員、西原委員、田仲委員、水口委員、
本山委員
○幹事 : 曾根原教育次長、臼井学びの改革支援課長 他

4 内容

(1) 議事

①小学校用教科書の選定に必要な資料について

<国語・書写>

【水口会長】ただいま説明がありました、国語の調査結果についてご質問ご意見はありませんか。

【熊谷委員】端的に全体的な特色について特徴をまとめていただいて、大変参考になるなと思いました。全体的な特色の中の、例えば7ページ教育出版の「ひろがる言葉 小学国語」の全体的な特色二つ目の横断的な学びを視野に、という表現がありますが、上の方を見ると東京書籍も、採択基準2番の児童の学習活動への配慮の(2)のところに、教科横断的な指導、という言葉がございます。隣の教育出版の方に、同じく2番の学習活動への配慮に、他教科と関連させる内容・構成に配慮して教材選定がされている、というように似たような内容ですが、若干表現の違いがあります。そういったことが他にも多少あって、例えば同じく教育出版の2番の学習活動への配慮(4)にも、ユニバーサルデザインを意識したフォントを取り入れ、というような表現がありますが、東京書籍の同じところを見ると、ユニバーサルデザインフォントを使用するなど、という表現があります。これはあえて、表現を変えてニュアンスの違いを表しているような気もしますが、そう捉えてよいでしょうか。

【調査員】そこまで細かく意識して変えた、ということはないと思います。全ての教科書を見た時に、どの教科書もユニバーサルデザインを意識している、ということはいっかりと分析ができています。ですので、ちょっとした表記の違いがあります。もし統一した方がよければ、統一したい、とご意見をお聞きして感じています。それから、先ほどの教科横断的な学び、というところですが、これもどの教科書会社も、他教科、あるいは生活に、というところは取り上げられています。今回、教育出版のところにSDGsを載せたのは、今年教育出版が目玉としているもので、SDGsのアイコンが載っているのが教育出版しかなかった、ということで、あえてここに載せました。

【水口会長】まずは文言の統一についてですが、東京書籍と教育出版とで若干の表現の違いがあるということですが、こちらを統一するかどうか、統一するとしたら代案としてどのような表現にするのかということについて考えたいと思います。いかがでしょうか。

【調査員】3社のうち2社がユニバーサルデザインフォントを使用する、という表記になっているので、これに合わせようかと思いましたがいかがでしょうか。よろしければそのようにさせていただきただければと思います。

【水口会長】全社のうち2社がユニバーサルデザインということで、最後の1社がユニバーサルデザイン書体や見やすい色を使う、二次元コードにタイトルが記載されたりして、見やすさに配慮となっています。

【熊谷委員】採択地区がこの資料を参考としていく時に、表記の違いから違うんだろうなと読み取ればいい、となればそれでもいいかなと思いますし、違いがないということであれば、統一していただいた方が採択地区が見る場合には分かりやすいのかな、ということを感じたところでもあります。

【水口会長】統一の必要性等は高いでしょうか。

【水口会長】文言だけでいうと、光村図書の方は、ユニバーサル書体にした、見やすい色を使った、二次元コードが入っている、といったことに限定されているんですが、東京書籍や教育出版に関しては、ユニバーサルデザインの観点で配色デザインを行っている、と書かれています。日々の教育実践で、教科書でユニバーサルデザインを使っている委員がいたら、ご意見をお願いしたいのですがいかがでしょうか。

【臼井幹事】最初に話題に出たのは、国語のページで言うと6、7、8ページの2の(4)のところ。このことと、書写の方の10、11、12ページの2の(4)のところの話が混在したかと思いましたが、先ほど調査員の方からありましたのは、7ページ6、7、8を比べた時、6ページと8ページについては、2の(4)で、ユニバーサルデザインフォントを使用、という言い方をしていることに対して、7ページだけ違う言い方をしているのです、3社のうち2社同じ言い方をしていれば、もう1社も同じ言い方にしてもいいのか、ということかと思えます。国語のこと、書写のことを分けて確認いただくといいかと思えます。

【水口会長】今ご指摘いただいた通り、前半の方で、書写ではない方で見ますと、東京書籍の2の(4)、こちらが、文字が小さい箇所にはユニバーサルデザインフォントを使用するなど、発達に応じた配慮。次の教育出版では、2の(4)ユニバーサルデザインを意識したフォントを取り入れ、文字の大きさを効果的に変えていて学年発達に応じた視覚的な配慮がされている。最後の光村ですけど、こちらが2の(4)で、通常よりも低学年では太い文字、文字が小さい箇所にはユニバーサルデザインフォントを使用したりし、学年の発達に応じた配慮がなされている、という文言が使われています。改めていろいろなところで違いがあったりするので、統一した方がよろしいかどうかということですが、いかがでしょうか。

【熊谷委員】調査員が言っていたように、フォントがユニバーサルデザインフォントであれば統一した方が分かりやすいのではないのでしょうか。デザインなど違いがあるものはそのままでもいいのではないかと。横断的な学びについては、教科横断的という意味合いで使うことが多いので、教科横断的という言葉にした方が、読み手には分かりやすいのではないかなと思います。

【水口会長】2番目の教育出版の2の(4)をユニバーサルデザインを意識したフォントではなくて、ユニバーサルデザインフォントに変えると、3つが統一されたようになるところですが、その点いかがでしょうか。もしよろしければ、この部分は教育出版の2の(4)ユニバーサルデザインを意識したフォントとあるが、ユニバーサルデザインフォントに修正するというのでよろしいか。

(全員賛成)

ではそのようにお願いします。

【細江幹事】もう1つ、熊谷委員からご指摘いただいた、7ページの4の全体的な特色で、横断的な学びも教科等横断的に統一をしたほうがよろしいのでは、というご意見だったと思いますが、調査員も同じ意味で使っているということだったので。

【調査員】統一したいと思います。

【水口会長】教育出版の4の全体的な特色の二つ目の横断的な学びも、教科横断的という修正をするのでよろしいでしょうか。他のものも同様に、教科横断的に書き換えるのでよいでしょうか。

【調査員】横断的、を教科横断的に表記をすべて変えても問題はないかと思っています。ここだけではなくて、横断的を使っているのが他の部分にもありますので、教科という言葉を入れることも可能かと思えます。

【水口会長】まず、教育出版の4特色の2番目の横断的な学びを、教科横断的な学びにするということです。同様のことがあった時には全て教科横断的に書き換えましょうということですね。

- 【臼井幹事】確認させてください。「教科横断的」とするか「教科等横断的」にするか。例えば、特別活動や総合的な学習の時間に関わる場合、領域になりますので、「等」を入れておくと、教科だけでないときも全部使える言葉になるので、教科等横断的にしておいた方がよいのではと思います。
- 【調査員】それでは教科等横断的に統一させていただきたいと思います。
- 【水口会長】教育出版の4の横断的を、教科等横断的な学びに変える、ということです。
- 【北村委員】内容の修正ではないのですが、確認ということでお聞きしたいことがあります。東京書籍の2番のところに、1年生の特殊音節の理解を助ける「多層指導モデルMIM」の指導法を取り入れ、というところが入っていますが、他の出版社については入っておりません。これについて、先ほどのSDGsのように、これは東京書籍のみが取り入れているということではよろしいでしょうか。
- 【調査員】東京書籍のみです。MIMという言葉がぱっと見て分からないかとも思いながら入れさせていただきました。詳しい説明を入れた方が良いか悩んだところですが、そのまま使わせていただきました。
- 【水口会長】これは一般的に皆さん読んだときに普通に理解できるような感じの浸透具合ですか。
- 【調査員】私の感覚からいくと、まだそんなに浸透してないのかなと。低学年をもっている先生は恐らく聞いたことがあったり使っていると思いますが、高学年になるとほとんど使わないので、若干温度差はあるような気がします。
- 【水口会長】これは低学年だけが使うのではないですよ。
- 【調査員】ではないのですが、低学年の教科書に主に載ってきているので、言語習得につまずきのある子への予防的支援ということで載ってきているので。
- 【水口会長】分かりやすくすると、どのようになりますでしょうか。
- 【熊谷委員】理解も難しいんじゃないかなと。先生方知っていますよね。県の方でもMIMを使った研修を総合教育センターでやったりしていますけど、知らない方も当然いると思うのですが、こういう言葉は調べれば出てくるので、このままでもいいような気がするのですがいかがでしょうか。
- 【久保田委員】特殊音節の理解を助けると書いていただいているので、まさにそれが一番良いので、いいかと思います。
- 【水口会長】今色々ご意見をいただいて、これはこのままで大丈夫だろうという話があったので、このままにしてよろしいでしょうか。
(全員賛成)
- 【水口会長】書写の方ですが、先ほど話題になった件ですが、東京書籍の2番目の(4)、カラーユニバーサルデザインの観点とあるので、これは先ほどの展開で言えばユニバーサルデザインフォントとしてよろしいでしょうか。
- 【調査員】これはフォントだけの問題ではないところがあって、教育出版には、4のところに色覚の個人差を問わない色使いと書いてありますが、これが実はカラーユニバーサルデザインに関わってくる文言で、表記を見ていて統一した方がいいかと感じましたがいかがでしょうか。フォントだけでなく、色使いもすべて含めたユニバーサルデザインという意味合いで使わせていただいているので。
- 【鈴木委員】教育出版の、色覚の個人差を問わない色使いというのが、ある意味売りとして出ている文言なのではないでしょうか。
- 【調査員】売りとして出ているわけではないが、色覚の個人差を問わない色使いということです。
- 【水口会長】教育出版のところは、カラーユニバーサルデザインではないということですか。
- 【調査員】ここを、色覚の個人差を問わない色使いという表記ではなくて、東京書籍のカラーユニバーサルデザインの観点、ということで合わせてしまうことは可能かなと。使っている意味としては同じですので。そうすると前後の文脈を少し変える必要はあるか、ということではありますが。

- 【水口会長】 次の光村の方は、合わせてカラーユニバーサルデザインを使った方がよいでしょうか。
- 【調査員】 ここには、カラーユニバーサルデザインという表記はしていないのですが、もちろん光村も配慮されていないということはありません。
- 【水口会長】 例えばですけど、まずお話しいただいたように教育出版に関しては(4)番、左利き児童への配慮やカラーユニバーサルデザイン、色覚の個人差を問わない色使いにする、でどうですかね。
- 【調査員】 左利き児童への配慮や、その後の手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントはフォントの話です。カラーのこととは別です。ユニバーサルデザインフォントとカラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインが、重複してしまうことがあります。
- 【水口会長】 色覚の個人差を問わないカラーユニバーサルデザインにするなど、どうでしょうか。
- 【調査員】 それは可能です。
- 【水口会長】 教育出版の2の(4)を、色覚の個人差を問わないカラーユニバーサルデザインの色使いにすることであれば、教育出版に関しては正確に伝わりますか。
- 【調査員】 削る修正は可能かと思えます。
- 【馬島委員】 東京書籍の(4)のところで、独自の教科書体を用いたり、カラーユニバーサルデザインの観点で配色やデザインしたりする、というのは、要するに、配色は色覚の方を意識しているし、デザインというのはフォントのことを言ってますよね。例えば光村のところでも、ユニバーサルデザイン書体や多くの人に見やすい色使いというのは、これは要するにフォントと色のことですよね。素朴な疑問なんですけど、書写の教科書は、そんなに多色で使っていないと思うんですよ。例えば、教育出版のところで、「憧れ」というのは朱書きで書いているんですよね。これがユニバーサルカラーか、ということと言ったら、例えばこれが朱色かな、と言った時に、その人の見える感覚で朱色と認識しているから、そういう意味では混乱はないのかな、という気がするんですよね。このところで、カラーユニバーサルデザインの観点というのが、私がまだ理解が浅くて申し訳ないのですが、どの人もみんな同じように見えるよ、で使うという意味なんですか。そういうことではないですよね。
- 【調査員】 そうです。朱色のところだけがカラーユニバーサルデザインということではなくて、全体的にも、見えやすい色を使っているということです。
- 【馬島委員】 見やすい色っていうのは、人によっては、その独特の見え方がするんですけど、その中でもはっきり識別できるような色っていうことですよね。そういう配慮がされているってことですよね。それすごく大事だと思うので、だから表現は違うんだけど言っていることはみんな一緒に、ひとつに統一していただけるといいと思う。あと私個人としては、左利き児童への配慮、というのに興味がある。というのは、普段は硬筆では左利きで書いて、毛筆の指導をしているときも左利きで書いている子や、普段は左利きで書いているけど毛筆の時は右で書いているというお子さんがいて、この観点ってすごくポイント高いなって思って。そこを私だったら採択の基準にしてもいいくらい思っているんですけど、資料では、ここで書いてある左利き児童への指導等配慮とかって言葉では書いてあるけど、実際にはここには出てきていないから分からないですけども、その辺のところも、今表記のことで細かいことを言われているので、例えば、教育出版だけ、左利き児童への配慮や、って簡単に済まされているので、資料の提示等あったら付け加えていただけると。意外とここポイント高いかなと思うので。
- 【調査員】 東京書籍も教育出版も光村も、左利き児童への配慮がされていて、左利き児童用のということは、全てのところに含ませていただいておりますが、少しずつ表記がずれてしまっていて、合わせる必要があれば合わせることは可能だと思います。同じような表記にしていくということで、カラーユニバーサルデザインのことと、今の左利き児童のことは、ズレがないようにしていくということで、修正も可能かと存じます。

- 【水口会長】 具体的にどういう文言にしていきますか。
- 【調査員】 3社ある。行数の関係もある。ユニバーサルデザインの中に、カラーユニバーサルデザインが含まれていると判断できる。
- 【馬島委員】 ユニバーサルデザインの観点から左利き児童への配慮、または色覚の個人差を問わない色使い、というふうにまとめれば、ユニバーサルデザインで統一されている、ユニバーサルデザインといっても抽象的でよく分からないのだけど、具体的に言うと右利き左利き、色覚の多様性、フォントの読みやすさ、観点なんだなと分かって審査する。みんなが専門家ではないので。
- 【調査員】 今ご指摘のあったように、ユニバーサルデザインという括りの中で表記は可能と思います。
- 【水口会長】 文言の修正はこの場でやるのでしょうか。
- 【事務局】 この場で文言の修正をしていただいて皆さんにご審議いただきたいと思っております。時間もございますので、進めていただいて後ほど調査員に提案いただきたいと思っております。
- 【水口会長】 文言の統一には時間がかかるので、このように、というのをしばらく考えていただいて、次の教科書に関して調査員から説明をいただきたいなと思っております。よろしければ先に進めます。
- 【事務局】 先ほど教科等横断的な、という修正がございました。それに関連いたしまして、国語の教育出版の2の(2)、他教科と関連させる内容、というところが一緒に関連してくるのではないかということで話題に上がりましたけれども、ここの文言の統一はどのようにしたらよいのでしょうか。
- 【調査員】 ここも意味としては先ほどと同じ、教科等横断的な内容、他教科との関わりということで使っていますので、教科等横断的な内容、というように修正することは可能と思います。
- （全員賛成）
- 【水口会長】 それでは、続けます。

<社会・地図>

- 【水口会長】 ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。
- 【木村委員】 東京書籍は四つの学習段階、教育出版は三つの学習段階となっているので大きな違いだなと思うのですが、教育出版を見ると「つなげる」とか「もっと知りたい」というのもあるから東京書籍の「生かす」に似ているのかなと思いますが、教科書的には、東京書籍はあくまで四つの学習段階、教育出版は三つと補助的に、「もっと知りたい」や「つなげる」があるということでしょうか。
- 【調査員】 おっしゃる通り、教育出版の方、教科書の部分には「つかむ」「調べる」「まとめる」へつなげるというところで、四つの段階が示されてはいるのですが、東京書籍と違い、教育出版の「つなげる」については、必ずやるということではなく、補助的な意味合いで展開されているということがございましたので。そこは分けて書かせていただいております。
- 【木村委員】 日本文教出版については、特に明確な分け方はされていないのですか。
- 【調査員】 1ページの中に、単元の中で、流れとしては同じように「つかんで」「調べて」「まとめて」というような流れはあるのですが、日本文教出版に関しては、各単元ごとに明記してはならず、教科書の一番最初の部分に、大きなサイクルというのが1ページにまとめて掲載されているというところで、ちょっと違いがございましたので、そのようにしています。
- 【水口会長】 今教えていただいた東京書籍と教育出版の違いについて、この点は修正せずで両方このままでも、特段の問題はなくよろしいでしょうか。
- 【木村委員】 比べやすいのでこれでいいのではないかと思います。

【水口会長】他の委員の方々もどうでしょう。

(特に意見なし)

【水口会長】今ご指摘いただいたところについては、特にこのまま修正せず、他の部分で何かご指摘、ご意見、ご感想等ございましたら教えてください。

【久保田委員】文言なんですけど、社会の東京書籍の2の(5)は二次元コードとなっているのですが、日本文教出版の3の(5)は二次元コンテンツになっていて、この先の他の教科にも関わりますが、これは同じものでしょうか。

【調査員】はい。同じQRコードですね。二次元コードのことを示しております。ですので、どちらかに統一した方がよいかと思いますが、ただ教科書の表記の仕方が日本文教出版に関しては、QRコンテンツという書き方をしている、東京書籍の方では、QRコードという書き方。いずれにしても、QRコンテンツという方が正確かと思いますが、統一いただいてもよい。東京書籍も日本文教出版についてもQRコンテンツという表記になっておりました。

【水口会長】今ご指摘いただいた点ですが、東京書籍の2の(5)を、二次元コードと書いてある部分を二次元コンテンツ。二次元コードを二次元コンテンツに、ということ。

【北村委員】国語に戻ってしまいますが、国語でも書写でもありますよね。これからも出てくるかもしれないですが、そのあたりは全体としては特に統一されていなくても大丈夫ですか。

【水口会長】恐らく教科で統一されていれば割と問題なく、それでよろしければ、教科ごとでいいのかなと思っております。

【事務局】二次元コードと二次元コンテンツの違いですけど、二次元コードは表記してあるもので、コンテンツはその中身。ここが二次元コードでいいのかコンテンツなのか。

【調査員】今のお話を聞いてなんですが、二次元コードというものは、いわゆる皆さんがご承知になっているコードです。東京書籍については、同じ場所に同じQRコードというか、二次元コードを配置していく。なので教科書のどこかに点在するというのではなくて、必ず同じ場所においてあるという意味合いで書いてある、ということ踏まえたと、お話を総合していくと、やはり二次元コードと記載すると適しているのかなと感じております。一方でQRコンテンツということに関わってですが、ここで中身について検討することはないんですけど、QRコンテンツという日本文教出版の書きぶりに関しては、例えばアプリケーションですとか、動画ですとか、そういったものにアクセスできるということを含めて記載されているということでございます。ちょっとその点に関しては、しっかり確認をさせていただくお時間をいただければと思います。

【水口会長】今の社会科と地図に関して、先ほど話合いされていた部分以外で何かご意見等ございましたらお願いします。

【熊谷委員】今の表現の問題ではないんですけど、QRコードの数。中身は採択に関係ないというお話でしたけれども、QRコードの数が日本文教出版では沢山あるということですよ。そのことが、採択に実際は影響せざるを得ないんだろうなと思いつつも、ここは、前回も確認しましたけれども、採択の基準にはならない。けれども数は触れてもいいということよろしいですか。

【事務局】前回確認させていただいた通りでお願いしたいと思います。中身は調査する項目には入れておりませんので、QRコードの見た目がどういうふうに、どう伝えているかということで、調査員にも確認しておりますのでお願いいたします。

【水口会長】他にございませんか。先ほどお話された点を、社会の方でどのようにしたらいいかというところを少し考えていただきたいと思います。

<算数>

【水口会長】内容についてご意見、ご質問があればお願いします。

【熊谷委員】24ページの学校図書の全体的な特色の二つ目に、日常事象を算数の目で捉える場面を取り上げ、とありますが、算数の目という言葉はあまり聞いたことがないと思ながらも、

これは、数学的な見方・考え方で捉える場面、ということとは違うでしょうか。

【調査員】 数学的な見方・考え方で捉える、というところと最終的にはつながってくるとは思いますが、算数の目ということが強調されていたりするところがございまして、掘り下げていくと数学的な見方・考え方、というところに結び付いていくと思います。

【水口会長】 ただいまの算数の目というところに関してはいかがでしょうか。

【調査員】 一つの案としてです。学習指導要領を読みますと、算数の問題という言葉が使われていますが、最終的には算数の問題を日常生活から捉えていくという意味合いにはなりますが、算数の目という言葉が良くないようであれば、修正も可能と存じます。

【熊谷委員】 イメージできないことではないと思います。入り口として、という言葉であれば、違う言葉にすると分かりにくくなる可能性もある、とお聞きして思いましたので、このままでもよいのでは、と思いました。

【水口会長】 特段ないようでありましたら、これはこのままにさせていただいて、他にお気づきの点などございますか。

【北村委員】 大日本図書の3番の学習指導への配慮の(1)のところに、第1学年では1巻を新設し、初期の学習に特化した指導をしたりできるよう配慮されている、と書かれていますが、この資料でなくて次第の方の教科書の一覧を見ると、啓林館の算数1年生のところのスタートブック、わくわく算数のスタートブックという形での教科書になっているのですが、その部分についても、1年生への指導の配慮という形での、ということでしょうか。啓林館のところですか。

【調査員】 大日本図書のどこでしょうか。

【北村委員】 大日本図書の3番の項目の(1)です。第1学年では1巻を新設し、初期の学習に特化した指導をしたりできるよう配慮されています。啓林館の方にも1年生の方でスタートブックがあり、これも先ほどの特化した形ということでしょうか。

【調査員】 啓林館の方で特にそこを強調している訳ではなくて、大日本図書の方で、そこを新たなところで意識して位置付けているということが、特色として出てきています。大日本図書の方で文言化させて入れているということでしょうか。

【北村委員】 今ご説明のあったように、令和5年のところで新設ということで、大日本図書の売りという形で、このままでいいのかなと思います。

【水口会長】 他にお気づきの点等ございましたら教えてください。算数は冊数が多いですが、もう少し時間を取りますか。
(特に意見なし)

<理 科>

【熊谷委員】 細かなことで恐縮ですが、理科の教科書でいうとサイズが各社まちまちで、その辺りの表現を見ると、30ページの東京書籍の2の(5)でA版となっていて、これは版の字が違うのではないかと思うのですが、A4判、A判。あとは31ページの方はA4サイズの大判、学校図書はワイド版という言い方ですね。教育出版はA4変形判。判はみんな「判」でよいのでしょうか。漢字の問題だけです。

【調査員】 判は統一するように、直しても問題はないと思います。

【水口会長】 30ページの東京書籍の2の(5)の最初のA版と書いてあるところをA4サイズに直すか。

【調査員】 版をA4判というような、判で統一することは可能だと思います。

【熊谷委員】 A4判という時は、半分の半にりっとうを書いた方で。

【水口会長】 A4の数のアラビア数字は入れるようにしますか。

【調査員】 入れる方がよいかと存じます。会社によってはワイドになっていたりもするので、A4、B5のワイドになっていたりとか、いろいろな形があるのでその辺を統一して分かるように。

【馬島委員】 A2というのはワイド版ですね。一覧表を見ると、A2っていうのがありますよね。こ

れはA4の縦とB5の縦を組み合わせたものがワイド版だと私は解釈していますが。

- 【調査員】その点について、統一するように明記していきたいと思います。
- 【水口会長】半角ではなくて、英数字は全角を使っているように思われるので、東京書籍のところの2の(5)は全角で、半分の半にりっとうを書いて、の方でA4判。
- 【調査員】東京書籍はA4判です。
- 【水口会長】大日本図書も、2の(5)はA4判。
- 【調査員】A4判に統一します。ワイド版というものについては、AB判に統一していきたいと思います。
- 【水口会長】他に理科の方でお気づきの点はありますか。
- 【宮下委員】細かいところで恐縮ですが、啓林館35ページのところです。2番の(3)、問題、予想、計画、観察、これは、教科書に出てくる項目の表記であれば、鍵かっこ付きかなと思いがら、その下の3の(2)のところでは、「予想・計画」が鍵かっこ付きになっているので、ここが違うものを表しているのか同じものを表しているのか、教科書の項目表記は鍵かっこ付きになるのかということ、まずは違うものか同じものかということ、それから(3)のサイクル&ラインという言葉も、教科書の項目の表記であればこれも鍵かっこ付きになるのかなと思います。確認させていただければと思います。
- 【調査員】2番の(3)については教科書の表記とつながってくるころなので、かっこを付けることでよいと思います。学びのサイクル&ラインについては、教科書の中では出てこない言葉ですが、教科書会社の資料に出ていた言葉です。
- 【水口会長】2の(3)の問題、予想、計画、観察、実験、結果、結果から考えようというところですね。ここはこのまま、かっこを付ける。結果が重複しているようにも見えるのですが、これもかっこを付けるということか。
- 【調査員】全てにかっこを付けます。もう一つは、学びのサイクル&ラインという言葉が(3)にあるのですが、教科書には明記されていない言葉なので、かっこは付けずにと理解しました。
- 【宮下委員】今のは趣意書の方に載っているということですか。鍵かっこを全部付けていくと、多分字数的に足りなくなることを考えると、鍵かっこを付けて学習の流れを示し、学びのサイクル&ラインは入れなくてもいいかな、と私は思ってしまったのですが、いかがでしょうか。
- 【調査員】その方が分かりやすいと思いますので、それぞれ鍵かっこをつけて、学習の流れを示し、学びのサイクル&ラインをカットするという方向で訂正したいと思います。
- 【水口会長】今この時間に文言をきちんと決めてしまった方がいいかなと思いましたが、2番の(3)はどうしますか。
- 【馬島委員】具体的な項目を、問題、予想計画、観察、実験といちいち入れるのはどうかな。というのは、例えば、問題、予想・計画で場合によっては観察だし、場合によっては実験だし、計画が入るところもあれば入らないところもあるし、それを全部やると、この一連の流れが全てにあるみたいに誤解を招くので、そうではなくて、学習の流れを学びのサイクル&ラインで示し、というこちらを生かして、項目は入れない方がいいのでは、という気がするのは私の感想ですが、いかがでしょうか。
- 【調査員】問題解決の過程を大切にされていることが、ここで言葉として、文章として伝えたい内容なので、今のお話を伺って、問題解決の過程を示し、というような形で短く分かりやすくした方がいいのではと、今のお話を聞きながら感じました。検討し再度提案いたします。
- 【水口会長】もう一度このところをご検討いただき、後ほどお話していただいでよろしいでしょうか。2の(3)のところと、A4判等のところですね。後ほど精査したものをお伝えしていただければと思います。
- 【事務局】国語と社会は今修正ができておりますが、どのようにいたしましょうか。今この後少しお時間を充てていただければお願いしたいと思います。

【水口会長】速やかに進めていただきたいと思います。

【調査員】書写のユニバーサルデザインの部分で、3社とも少しずつ修正をいたしました。大きなユニバーサルデザインという観点の枠組みの中で、ということで修正しました。それから、フォントや色使いに配慮しているというのは、全ての会社にとって共通ですので、そこは全て入れさせていただきます。左利き用への配慮という視点で新たなものを少しずつ入れさせていただきます。

教育出版(4)、ユニバーサルデザインの観点から、左利き児童用の資料の提示や、フォント・色遣いへの配慮等がされていることで、全ての児童にとっての学びやすさにつながる工夫をしている。東京書籍(4)、ユニバーサルデザインの観点から、左利き児童も見やすい教科書紙面の構成や、独自の教科書体を用いながら、全ての児童に配慮されたフォント・色使いなどを工夫している。光村図書(4)、ユニバーサルデザインの観点から、フォント・色使いに配慮するとともに、左利き児童用の教科書紙面や動画を二次元コードから読み取れる教科書連動コンテンツとして用意する等工夫している。と、させていただきます。少し説明をさせていただきます。教育出版、左利き児童用の資料の提示、とありますが、右利きとは別で左利き児童用の資料が教科書に載っています。東京書籍は、左利き児童用ではなく、左利き児童も見やすい教科書紙面の構成というようにさせていただきます。左利き用が載っているわけではありませんが、教科書に載っているものが右利きの子も左利きの子も両方見やすいものにデザインされているということです。光村ですが、光村だけは、左利き用の動画、紙面プラス動画が載っています。なので教科書連動コンテンツとして良いということで、文言を入れさせていただきます。

【水口会長】ありがとうございます。次、社会お願いします。

【調査員】二次元コード、二次元コンテンツということで、2社それぞれの書きぶりになっておりましたが、二次元コンテンツというのは、二次元コードからとんだ先、ということで、動画であるとかアプリケーションであるということ踏まえて、日本文教出版の3(5)にございます、二次元コンテンツというところを、二次元コードと変更しています。また、二次元コードの掲載については、両社とも同じように掲載されているので、東京書籍の方に合わせて、二次元コンテンツを随所に配置し、というような変更をいたしましたがいかがでしょうか。

【事務局】もしよろしければ、お認めいただいたということで午前中はこれで終了し、午後の最初に理科の続きを発表していただいて、国語、社会は今の形をお願いできたらと思うのですがいかがでしょうか。国語、社会は今提案がありました、提案の通りでよろしいでしょうか。

(全員賛成)

国語と社会を今のような形で修正したいと思います。

〔休憩〕

【水口会長】時間がまいりましたので、進めさせていただきますと思います。午後の最初は、理科のご説明をいただいて、続けていきたいと思います。

【調査員】理科につきまして、次のように修正したのでお願いします。まず東京書籍です。2番の(5)番、A版となっておりますが、A4判、判については半分の半にりっとうでのA4判でお願いします。次のページの大日本図書についてですが、2番の(5)番、A4サイズをA4判、次のページの学校図書ですが、2の(5)番、ワイド版になっていますが、これをA4判、次のページですが、教育出版2の(5)番、ゆとりのあるA4変形判となっておりますが、A4変型、型は、ここに表記されている形ではなくて型の方で、A4変型判というような形に修正をします。次のページの信州教育出版社、2の(5)番です。今ワイド版となっておりますがA4判、最後のページになります。啓林館についてですが2の(5)番、他の

会社については、教科書のサイズについて明記されていて、この啓林館のみ今明記されていないので、2番の(5)番のところに、観察実験に取り組むをカットし、AB判を採用し、児童や自然の様子などを伝える写真、というような形に修正したいと思います。教科書のサイズに関しての訂正は以上です。続けて啓林館の2の(3)についてです。先ほどいただいた意見を基に、次のように提案したいと思います。問題予想から学び&ラインで示し、を全てカットし次のようにしたいと思います。問題解決の過程を巻頭で学びのサイクル、内容ごとにラインとして示し、児童が見通しをもち、主体的という言葉のカットし、学習できるように配慮されている、というように修正を考えました。

【水口会長】ただいま修正する箇所について、具体的に文言を示していただきました。ただいまのものでよろしいでしょうか。ではこのように修正させていただきたいと思います。

【水口会長】それでは、続いて生活についてご説明をお願いします。

<生活>

【水口会長】ただいま7冊の教科書について説明していただきました。お気付きのご意見等ありましたらお願いします。

【熊谷委員】40ページの学校図書の全体的な特色の二つ目なんですが、児童の意識を大切にし、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮されている、と。他のところは特徴を捉えて具体的なことも見えるような表現になっているのですが、ここは、児童の意識を大切にし、というような大きなぼやとしたもので、具体的に特徴が、主体的・対話的で深い学びというのはどの教科もそこを目指しているのですが、何をもって児童の意識を大切にしたい配慮がされているのかちょっと見えづらいのですが、具体的に言うと、上の3の(2)とか、その辺のことを指しているのでしょうか。

【調査員】学校図書について、児童の意識を大切にし、主体的・対話的で深い学びが実現できるところに関わってですが、こちらは、確かに上の部分との関連が薄いように思います。

【熊谷委員】何かしら、児童の意識を大切にしようという風潮があるとか、主体的・対話的で深い学びにつながるようなこういう手立て、というのが入ると分かりやすいと思いましたが。

【調査員】そうしますと、2の生徒の学習活動への配慮(3)の部分に関わってくると思いますが、こういったところの文章が入ってくると分かりやすくなるも存じます。

【熊谷委員】2の(3)が具体的な内容が一番近いということですかね。

【水口会長】今話題になっている、4の全体的な特徴の、最後の主体的・対話的で深い学びは、教科書自体には書いてあるのですか。

【調査員】調査員会でそのように判断いたしました。

【水口会長】ここの部分があまりにも抽象的なものなので、人格の完成をするにあたって最も最適な、と少し似ている感じがして、ここのところを変えるか、先ほどお話があったような、主体的・対話的というのと非常につながりがよいものを何にするか、ということですが。

【調査員】それでは、主体的・対話的で深い学びの部分に関わって修正案を後ほど提案させていただくということではよろしいでしょうか。

【水口会長】他のところで何かございますか。こうしたらもっといいという点はありますか。

【北村委員】ちょっと読み込み不足だったら申し訳ないのですが、二次元コードコンテンツが一応全部載っているんですが、2番の児童の学習活動への配慮のところ載っているところと、3番の学習指導への配慮に載っているところがあって、例えば光村図書あたりは、児童の安全にかかわる情報をということだから、他のものと違いがあるように感じますが、あとのものは、もっと知りたいことに応えられる、ということがだいたい2番に載っていて、そうじゃないのが3番にあると捉えたのですが、ここは内容に明確な違いがあったのであればこれでいいと思うのですが、もしそうじゃなかったらどちらかに、2番なら2番に固まっている方がいいんじゃないかなと思いますがいかがでしょうか。

- 【調査員】二次元コードコンテンツについてですが、こちらについては、先ほどお話しいただいたように、光村図書に関わっては意図的に3に含んでおります。他社については、子どもが自分の知りたいことを自分でどんどん調べていけるように、というところが感じられたものについては2の方に入れさせていただいています。
- 【北村委員】教育出版と信教出版については3番なんですけど、もっと知りたいという2番の方かなと受け取ったのですが。
- 【調査員】それでは、教育出版。こちらは2の方で記載ということの案を検討いたします。
- 【北村委員】内容が他の東京書籍さんと違わないようであれば、2の方がいいのかと私は思いますが。
- 【調査員】それではこちらは、2の方に修正させていただくか検討いたします。
- 【水口会長】他に何かございますか。もしこれ以上ないようでありましたら、一度生活科の報告を区切らせていただいて、次の教科の方について、また改めて修正したものを提案していただくということでもよろしいでしょうか。
- 【臼井幹事】今のところを整理させていただきます。二次元コードコンテンツという言葉を使ったフレーズが、2に入るか3に入るかということですが、今調査員の方でそれぞれ2に入れるか3に入れるかを作っているわけですが、なぜそちらに入れたのかを整理していただいて、説明ができるような状態であれば、それが分かるように説明していただくとよいし、やはりこちらの方がいいのでは、ということであれば修正になるので、この後整理していただいて修正案としてご提案いただければと思います。
- 【調査員】お時間を頂戴して、きちんと修正してご提示したいと思います。
- 【熊谷委員】特に二次元コードコンテンツでは、教育出版で言うと、個別の学びと協働的な学びに配慮する。あるいは光村図書では、児童の安全に関わる情報を視聴できるように配慮されている。信州出版では、上下の教科書で扱う動植物の図鑑が用意されている。これは要するに、二次元コードコンテンツの中身に触れたコメントではあるのではと思うのですが、これはこういうふうにしていいのかなど、悩むところではあるのですが、冒頭のところでも申し上げたことにも関わりますが、採択に関わってコンテンツの中身が影響するかどうかということにも関わるとは思います。その辺はどう考えますか。
- 【臼井幹事】今のところは大切なご指摘で、ここに書かれていることがコンテンツの中身が有効だということに見えてしまうと、中身に触れている話になるので、紙の教科書上で、どういうところに二次元のコンテンツに飛べるようなものが配置されているか、という視点で書いていただくのが良いかと思しますので、その辺も含めて、事務局が分かっているので相談しながらお願いしたい。
- 【水口会長】修正していただき、改めて報告をいただきたいと思います。

<音 楽>

- 【水口会長】ただいまの報告についてご意見ご感想等お願いします
- 【久保田委員】細かい表記ですが、教育芸術社の3の(2)二行目、一番最後のQRコードは、今までの教科では二次元コード、二次元コードコンテンツとなっていたと思うのですが。
- 【水口会長】二次元コードですかね。コンテンツまではいなくて。その方が適切でしょうか。
- 【調査員】二次元コードで問題ないかと思えます。
- 【水口会長】それでは、教育芸術社の3番目の(5)、統一したQRコードとありますが、統一した二次元コードでもよろしいでしょうか。他にはありますか。
- 【馬島委員】教育芸術社の2番の児童生徒への配慮の(5)ですが、白を基調とした紙面で云々とありますが、白を基調とした紙面を取り立てて言うことにどういうことがあるのかと思って。他のところもそうですけど、写真とか絵ではないところは、基本的には白が基調ですよ。ここで白を基調とした紙面と取り立てることには、何か他と違うことがあるのでしょうか。
- 【調査員】こちらの言葉ですが、教科書会社の資料も参考にして書かせていただいた部分でありま

す。

【馬島委員】白を基調とするということをあえて強調しているねらいというか、どういうことが児童生徒への配慮になっているのかということですけど。他はそのようなことは書かないと思うのですが。何か特別理由があるのかなと思ったのですが。

【調査員】他の教科書と比較して、もし特別ここで取り上げる必要がないのであれば、白を基調とした紙面という部分をカットしても問題はないと思います。

【馬島委員】取り立ててないのであれば、かえって混乱するのかな。

【熊谷委員】ただ、教科書会社によって紙の色は、例えば国語で言えば光村図書は真っ白じゃなくて少しページがかかった紙の色を使っていたり、教科書会社によっては真っ白でそっちの方が見やすいという場合もあるし、まぶしいという場合もあって、紙の質は教科書会社によって変えているという特徴も多分あるんじゃないかと思います。

【馬島委員】もし手に取って見た時に、それが特徴としてあるのであれば、そのままにしておいてください。

【水口会長】文言をどうするかということをお伝えの方がいいので、手に取って確認していただいてどうするかということで。音楽の方、他には何かございますか。

< 図画工作 >

【水口会長】何かご意見ご感想等ございましたらお願いします。

(特に意見なし)

もしないようでしたら、後ほど改めてお伺いします。一度ここで図画工作は終わりにします。

< 家 庭 >

【水口会長】ただいま家庭からご報告がありました。ご質問やご意見がありましたらお願いします。

(特に意見なし)

< 保 健 >

【水口会長】ご意見ご感想がありましたらお願いします。

【北村委員】確認なんですけど、大日本図書の4、一つ目の全体的な特色の「学習ゲーム」というのは、全単元導入しているということでしょうか。そうであったらこれで構わないのですが。

【調査員】はい、そのようになっております。

【水口会長】他に何かございますか

【鈴木委員】大修館書店の2の(1)なんですけど、3～4年生では20点、5～6年生では31点資料が提示されており、学年に応じてより発展的に学べるように工夫されているとありますが、関係する資料とはどういったものでしょうか。

【調査員】手元にある教科書で申し訳ないのですが、例えばですが、5～6年生の保健の教科書で交通事故の防止という観点があります。ここで、一通り「考えよう」「話し合おう」ということで学習のまとめをした後、「もっと学びを広げよう深めよう」というような形で資料として示されているのが、31点、20点それぞれの教科書であるということになります。

【水口会長】他に何かございますか。もしないようでしたらここで保健の説明を終わります。

【水口会長】ここで、もしできれば午後の方で修正の加わった教科科目の調査員に説明していただいて、一つ一つの文言について扱いたいと思いますがいかがでしょうか。

【事務局】生活の説明がまとまり、調査員より説明する準備が整いましたので、ここで扱ってもよろしいでしょうか。

【水口会長】分かりました。それでは、生活よろしくをお願いします。

【調査員】生活に関して修正等お願いします。主に2点ございます。1点目ですが、ご指摘いただ

きました学校図書の4、全体的な特色、2の方になります。児童の意識を大切にし、主体的・対話的で深い学びが実現できるように配慮されているというところですが、こちらの方、次のように修正をさせていただきたいと思えます。児童の言葉を基にしたリード文により、児童の意識を大切にし、主体的に学習を進めるよう、配慮されている。2の(3)との関連性を図りまして、このような意味を含めた修正をさせていただきたいと思えます。

【水口会長】今の修正で大丈夫でしょうか。

(全員賛成)

では、今ご提案いただいたように修正させていただきたいと思えます。

【調査員】続けて2点目になります。先ほどの二次元コードコンテンツに関わったところですが、こちらの言い方を二次元コードという言い方で統一をしたいと思います。その上でです。2と3の分類に関わって説明させていただきます。2に入っている二次元コードにつきましては、子供のもっと知りたいことに応えられる、という観点を基に、2の方に入れていきたいと思えます。3のところに入っております二次元コードにつきましては、若干内容に踏み込んだところが、ご指摘の通りございましたので、そういったところ、あるいは、まためあてに向かっているような場所に配置されているかどうかといったところで、次のように修正いたします。まず、東京書籍です。対象物と児童が一度に目に入る写真等で、活動への意欲や期待感が高まるよう工夫されるとともに、もっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードが配置されるよう配慮されている。続きまして大日本図書です。モノクロでイメージを膨らませるページや単元の扉の見開き全面を使った写真、もっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードを掲載し、学習意欲を高められるよう配慮されている。続きまして学校図書です。表記、表現は児童の発達段階を考慮し、児童の負担にならないよう配慮されている。また日々の授業で、もっと知りたいことに応えられる場所に二次元コードを掲載するよう配慮されている。続きまして教育出版です。3の(5)になります。ICTの活用例を豊富に掲載し、児童の学習を後押しできるよう配慮されている。また、個別の学びを促す場所に、二次元コードを配置する工夫がされている。続きまして光村図書です。3の(5)になります。内容に即した多様なイラストや写真が掲載されているとともに、注意が必要な学習内容には、二次元コードを配置する配慮がなされている。続きまして信州教育出版社です。3の(5)になります。県内の学校の実践をもとにした、写真や挿絵、文章、作品が多く掲載されている。また、学習の見通しがもてるように、巻頭に二次元コードを配置する工夫がなされている。最後に啓林館になります。興味・関心を喚起する写真やイラストで、変化や作り方を示したり、もっと知りたいことに応えられる場所に、二次元コードを掲載したりする工夫がされている。このように修正させていただきたいと思えますが、いかがでしょうか。

【水口会長】大丈夫でしょうか。では、そのように修正させていただきたいと思えます。

(全員賛成)

【水口会長】ありがとうございます。続いて音楽科お願いします。

【調査員】教育芸術社の資料をお開きください。2の(5)、白を基調とした紙面で、という言葉についてですが、私の方で二社の教科書を見比べさせていただいたときに、取り立ててここに記載しなくてもよいと考えました。したがって、白を基調とした紙面で、までを削除していただくことを提案いたします。改めて確認ですが、3の(5)、先ほどQRコードという言葉がありましたが、これは、二次元コードに修正をお願いいたします。

【水口会長】これでよろしいでしょうか。

(全員賛成)

【事務局】美術、家庭、保健に関しては特に修正点等ございませんでしたが。

【宮下委員】1点、お願いします。図画工作ですが、調査資料の50ページ、2の児童の学習活動への

配慮の中の(5)、「漢字の総ルビ」という言葉が出てくるのですが、これは趣意書に出てくる言葉でしょうか。総ルビと言うと、出てきた漢字すべてにルビがふられていると捉えてしまうのですが、教科書を見ると未習の漢字に対してはルビが振ってあるのかな、と私は読み取れました。それが開隆堂さんも日本文教出版さんも、未習漢字にはルビを振ってあるかと思うので、総ルビであるとするならば表記すればいいと思いますし、そうでなければ漢字の総ルビのところは、カットしてもいいのでは、と考えます。

【調査員】 ご指摘いただいた通り、総ルビとありますが、出てくる漢字すべてにルビが振られているわけではございません。新出漢字、その学年で扱っていない漢字についてのルビでございますので、ここの表記はカットすることは可能と思っております。

【水口会長】 どこからどこまでカットされますか

【調査員】 UD フォントの使用など、としたいと思ひまして、「漢字の総ルビ」のところだけカット、というように考えております。

【水口会長】 UD フォントの使用など、漢字の総ルビを削って、見やすさや、でよろしいでしょうか。

【調査員】 はい、お願いします。

【小野委員】 図画工作のところですが、51 ページの4の日本文教出版の全体的な特色の2つ目のところですが、題材ページには見開き1ページの中に表現と鑑賞が関連性をもって設けられ、児童が対話している姿が構成されている、というところは、表現と鑑賞が関連性をもって載っているというところを取り上げたいということでもよろしいでしょうか。例えば開隆堂さんだと、全体的な特色の最後のところ、活動の全体的なイメージがもちやすいよう配慮されている、とされていますが、これは題材提示に、1ページに表現と鑑賞を載せることで、どこに特色が出るかということをお伺いしたいのですが。

【調査員】 日本文教出版でございますが、お示しさせていただいた教科書コピーをご覧いただきたいと思ひます。見開きの中で、表現領域ではございますが、鑑賞の視点をもてるように、例えば虫眼鏡の形のキャラクターが吹き出しの中で語りかけているように、鑑賞の資質・能力を発揮できるよう配慮されているという意味で、全体的な特色の2つ目として挙げております。開隆堂出版につきましては、見開きで表現だけの題材で扱っておりまして、資料にはないのですが、別の題材の中で鑑賞だけ取り立てて扱っているという構成になっております。

【小野委員】 表現と鑑賞が関連させて載せられている、ということですね。

【調査員】 そうです。

【水口会長】 他にございますか。

【事務局】 家庭については先ほどご意見が特になかったようですが、その後いかがでしょうか。特にご意見がないようでしたら、ここで示されている資料でよいということでもよろしいでしょうか。

(全員賛成)

【事務局】 ありがとうございます。修正を加えた理科、生活から保健までをこの資料で送付したいと思ひます。

〔休憩〕

<外国語>

【水口会長】 ご意見やご質問等あればお願いします。外国語ご担当の先生はいらっしゃいますか。ご感想でもいいのでお願いします。

【宮下委員】 1点確認をしたいのですが、調査資料71 ページ啓林館、4、全体的な特色で2つ目のところ、ゲーム要素のある活動ではなく、と意図的に啓林館だけ記載があります。ということは他の教科書については、まだゲーム要素のある活動が配置されていると捉えていいのでしょうか。

- 【調査員】今ご質問のあった通りです。他の教科書会社については、ポインティングゲームですとか、そういったことも、何々するためにこのゲームを行うという形でゲーム的な要素のある活動が盛り込まれていますが、啓林館については、そういった活動がなかったということになります。
- 【小野委員】外国語、異文化理解をしていくには、やはり自国の理解もすることが私はとても大事だなど思っているのですが、光村図書の1番の三つ目のところですが、他のところは異文化理解というところが入っていますが、光村図書以外には自文化理解ということころはないということによいのでしょうか。
- 【調査員】光村図書出版については、自文化という文字を入れさせていただきましたが、他の教科書会社についても、異文化理解を通して自文化も理解していくというような、日本のことですか身の回りの地域のことですか、そういったことを扱う題材はございました。
- 【水口会長】他に何かございますか
- 【久保田委員】2の(5)で教育出版と光村はA4大判と出ていないのですが、サイズが違うということによろしいのでしょうか。
- 【調査員】A4大判と書いていないものについては、少し小さいサイズの教科書になっております。(現物を提示して)光村図書と教育出版についてはこちらの小さいサイズになっていて、それ以外についてはA4判となっています。
- 【久保田委員】A4大判というのはA4のサイズですか。
- 【調査員】開くとA3になるサイズになります。
- 【臼井幹事】これまでの教科書のところかというと、A4大判と書いてあるのがいわゆるA4判でいいと思いますので、A4判としていただければいいのかなと思います。66ページの東京書籍の全体的な特色の下から3行目の、別冊A4判の判の字が違っているので他教科と統一していただければと思います。ということで、A4大判はA4判に統一してよいかと思いますよろしいでしょうか。
- 【北村委員】東京書籍の、全体的な特色の一つ目のところに、ワークシートの豊富な書き込みスペースがあり、ワークシートがなくても児童の学びの足跡となる、というところですが、それについては、教科書の趣旨としてワークシートがなくても学習が完結するという位置付けで、他社のものについてはワークシートを併用していく学習を想定されているということによろしいでしょうか。
- 【調査員】調査員の中で教科書を見た時に、ワークシートにするような形が教科書紙面に表れていたということで、教科書だけあればワークシートがなくてもしつかりとそこに記入できるということで、書かせていただいたところであります。
- 【水口会長】他に何かありますか。
- 【熊谷委員】三省堂ですが、1の二つ目の中点の、前回も確認しましたが、教科等が入るということを確認されたかと思います。言葉の表現の問題ですが。三省堂の4の全体的な特色は、他の教科書とちょっと違って、書きぶりが違うといえますか、要するに一つ目の中点は、各学年が三つのUnitで構成されていて、HOP、STEP、JUMPで、要するに樹形図のような構成であると書いてあるが、そのことによって何のメリットがというか、子供たちにとってどんな良さがあるか分かりにくい。二つ目の中点も、CAN-DOリストが記載されていることで、全体的につける力が分かりやすい、何かそんなようなことだろうとは思いますが、一つ目の方は樹形図になっていることによって、どんな工夫やあるいは配慮があるかということが分かりづらいのですが、これはどういう良さがあるということですか。
- 【調査員】良さというところがありますが、これが一つ特徴かなと調査員の方で出ていました。他の教科書会社でいくと、UnitやLessonという単元が七つないし八つあるところを大きく捉えて、大きなテーマで三つ作って、その中に細かくLessonとかある。一つはスモールステップで一つの大きな年間三つあるユニットに向かって、スモールステップ

を重ねてそこを目指していく、というような意図があるのかと感じています。

- 【熊谷委員】それは3番に入れるような内容かなと感じて、4の全体的な特色とするなら、小さなステップを積み重ねていけるようになっていくというような構成になっている、ということかとお聞きして思いました。それは、読み手がそう思えばいいと考えればいいんですか。
- 【水口委員】今のように修正するのもありですし、読み方によってはそういった読み方も可能であるので、文言を修正しないということでもいいかと思うのですが、いかがでしょうか。
- 【小野委員】選ぶ側として読んだときに、今ご指摘されたように、こういう構成だからこうなんだ、そういうふうに目を付けていくのではないかと思うので、今お話を付け加えられたことも書くのであれば、その方がいいような気もするのですが。
- 【調査員】1つは、HOPのところで目標や見通しをもつようになっています。そしてLessonで繰り返し活動して、最後にJUMPのところで、最終的なゴールの形で振り返る。つまり目標、見通し、振り返りの過程を意識できるように工夫されている、というような文言を入れさせていただく方向でよろしいでしょうか。確かに事実のみですが、そうになっているのは目標、見通し、振り返りの過程が意識できるということかなと思います。
- 【臼井幹事】確認ですが、三省堂の1の1番上に書いてあることと重複感のようなことは大丈夫でしょうか。
- 【調査員】まさに重複してしまうところです。
- 【熊谷委員】三省堂の特徴が、HOP、STEP、JUMPのような段階的に学習ができることなのか、4の全体的な特色に書いてある樹形図のような構成が特徴としてあるのかにもよると思うんですが、樹形図のような構成であることのメリットということが何かということとは分かりづらいと思ったのですが、HOP、STEP、JUMPのような段階的なことなのかと思いました。樹形図のような構成とはどんなメリットがあって、教科書として教える側にとっての良さがある、という理解をすればいいですかね。それが何かということが、ちょっと分かりにくいと思いました。
- 【調査員】樹形図という言葉については、調査委員会の方で表現した言葉になります。三省堂の趣意書等を見ますと、やはり目標、見通し、振り返りの過程を意識していくことを工夫しているということですので、そちらの文言も目標、見通し、振り返りの過程を意識できるように、というところで修正させていただきたいと思います。1番の一つ目との重複性ですが、ここについても、内容的には重複してしましますが、一つ目を補完するような表現にさせていただければと思いますがいかがでしょうか。
- 【水口会長】今、このようにすると分かりやすいというご提案があったかと思いますが、この後、特別支援、道徳と発表していただいた後に、ご発表いただければと思います。

※当初の予定と発表順入れ替え

②特別支援学校小・中学部及び小・中学校特別支援学級において教科用図書として使用する一般図書の選定に必要な資料について

<特別支援>

(質問・意見は特になし)

<道徳>

【事務局】コピー資料の一部を、差し替えさせていただきたいと思います。

【水口会長】何かご意見ご感想等ありましたら、お願いします。

【事務局】事務局より1点お願いします。74ページ東京書籍の一番下のところですが、教科横断的を教科等横断的ということで、他の教科と同様に統一させていただきたいと思います。

【水口会長】他にはございますか。道徳の発表につきましては、これで終わりにいたします。

- 【水口会長】英語の文言の修正についてお願いします。
- 【調査員】外国語の三省堂になります。先ほどご指摘をいただきました4、全体的な特色の一つ目について、修正をお願いします。各学年が三つのユニットで構成されていて、それぞれに、まではそのまま、言語活動の目標が設定されている。ユニットの中で小さなゴールを達成しながら、語句や表現を身に付けていくような構成である、と訂正させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。次にその下のCan do リストとありますが、すべて大文字のCAN DOに修正させていただきたいと思います。各教科書会社でCAN DOの表記は様々なので、それに合わせて資料は作成しています。以上です。
- 【水口会長】修正するところは具体的にどこでしょうか。東京書籍さんは大文字ですね。
- 【調査員】修正いただくのは三省堂のみになります。
- 【木村委員】6ページの採択基準の欄ですが、3番の基礎的基本的な、というところの6行目から、ここだけ「主体的に学習に取り組む態度を養う」、それ以外は「学びに向かう力・人間性等の涵養」になっていて「学びに向かう力・人間性等の涵養」の方が正しいのかと思いついて、同じ採択基準の中で会社によって違ったりもするので、26ページでしょうか、ここもここだけ主体的、になっているので修正をした方がよいのではと思います。また、ちょっとしたところで、外国語の69ページなんですけど、4の全体的な特色の、2行目のところで、よりよいか関わり合い、の前にある「か」はいらないと思いました。
- 【事務局】26ページの採択基準のところの観点の文言ですけれど、一部前回の古いものが入り込んでしまっているの、最終的に選定資料として各市町村にお配りしていく前に事務局の方で確認修正を全て行い、出していきたいと考えております。申し訳ありませんでした。
- 【熊谷委員】特別支援の94ページの対象年齢について書かれているんですが、教科書に記載された年齢、あるいは調査員会で考えた目安の年齢が区別なく入っているということでしょうか。
- 【調査員】調査員会で、各発行会社のホームページを調べて、対象年齢の書かれているものはそちらを優先して記載しています。書かれていないものについては、調査員会で考えて入れたものが入っています。
- 【熊谷委員】例えば、一番最後の道徳の15番は5歳からと入っているが、これは調査員会で考えたものなのか分からない、ということでしょうか。
- 【調査員】こちらは記載のあったものになります。今回は区別できるように記載していないので、これを見ただけでは判断できません。
- 【熊谷委員】上の年齢のないものは大人までよい、ということなのでしょうか。
- 【調査員】はい。そう考えております。
- 【水口会長】他よろしいでしょうか。
- 【北村委員】76ページ道徳の、判の大きさが話題となりましたが、B%変形版の「版」の字が「判」でよろしいでしょうか。2の(5)です。
- 【事務局】修正いたします。形も型に修正します。
- 【久保田委員】道徳79ページ、学研のユニバーサルデザインフォントですが、他のところはUD教科書体と表現があるのですが、その辺はどうでしょうか。
- 【調査員】教科書会社でこれを使っています、というのを、そのまま忠実にそこに記載しております。
- 【久保田委員】74ページの東京書籍の2番の(5)も同様でしょうか。
- 【調査員】はい。
- 【水口会長】他はいかがでしょう。これですべての調査結果の発表が終わりました。委員の皆様には慎重にご審議いただき、修正を経て決定をいたしました。ありがとうございます。では、議事の(3)に移ります。ただいま決定した内容の資料を付して、答申することとしてよいでしょうか。
(全員賛成)
では、答申(案)の(案)を消してください。
- 【水口会長】以上ですべての審議を終わります。